

# 腹膜透析（PD）出口部周囲の皮膚トラブルに 「リモイス®コートハンディ」を使用して

医療法人社団スマイル 広島ベイクリニック1)

医療法人社団スマイル 博愛クリニック2)

一般社団法人 広島腎臓機構3)

○松尾晴美1)、福富愛1)、永易由香1)、坂田良子1)、寺尾佳介1) 亀田康範1)、沖永鉄治1)  
松見勉2)、平林晃1)、高杉敬久2)、頼岡徳在1)3)



## 背景

PD出口部の固定→合併症予防の観点から重要

【現状】 テープかぶれ、かゆみ

→ 十分な固定ができない

【試み】 テープを変える

保湿剤を塗布する

【結果】 ベたつき、固定ができない

→ 肉芽が完治しない

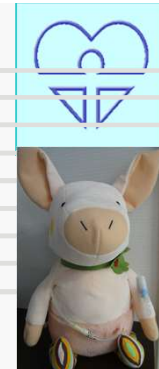
トラブルが絶えない



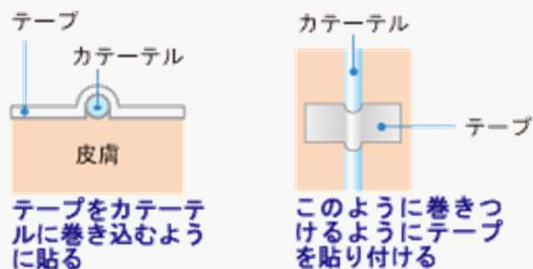
様々なテープ



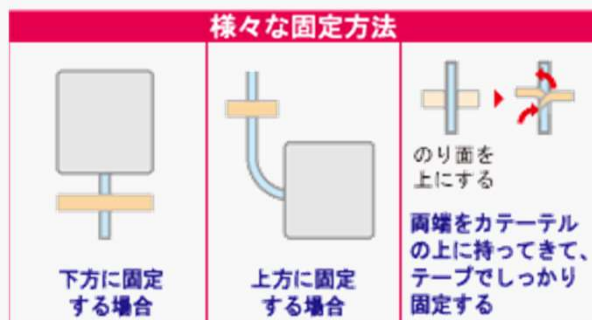
様々な保湿剤



# 一般的なテープ固定の方法



固定が不十分な場合、  
肉芽やダウングロースが発生



JMS 腹膜透析情報サイトより転用

固定をしっかりと行うことが重要！

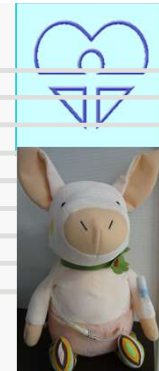


## 目的



ストーマ患者用に販売されている  
皮膚保護剤  
「リモイス®コートハンディ」が  
PD出口部合併症の予防に有効であるか  
検討した

# 「リモイス®コートハンディ」



シート状

速乾性

微粒子構造

ノンアルコール

テープが貼れる

保湿成分配合



## 塗布後テープが貼付できて、剥離刺激も軽減

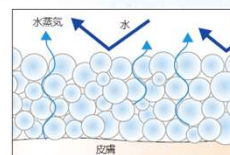
皮膚への刺激が少ないノンアルコール性の保護膜形成剤です。速乾性でべたつかず、上からテープなどの貼付も可能。ダメージを受けやすい皮膚をやさしく保護し、また保湿成分配合で、皮膚をしっとりなめらかに保ちます。



テープの剥離刺激が少なく、脆弱な皮膚への使用も安心

## 微粒子構造が、ムレやつっぱり感を軽減

透湿性と撥水性を両立する微粒子構造で、保護膜によるつっぱり感やムレ感を軽減します。膜で覆われた感じがなく、快適です。



## 全成分

ジシロキサン、（アクリル酸アルキル／ジメチコン）コポリマー  
ミリスチン酸イソプロピル、ジメチコン、（ジメチコン／（PEG-10/15））  
クロスポリマー、香料

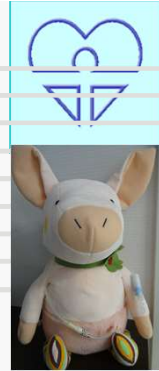


# 方法



- ①研究デザイン 質的研究
- ②研究対象者 Aクリニックに通院中の  
PD患者4名
- ③研究期間 2014年4月～10月
- ④データ収集方法  
かゆみ ⇒ 「白取分類」  
出口部・周囲の皮膚 ⇒ 「ISPDの診断基準」
- ⑤分析方法 使用前後でデータを比較する

# 評価方法



## 白取分類（かゆみ）

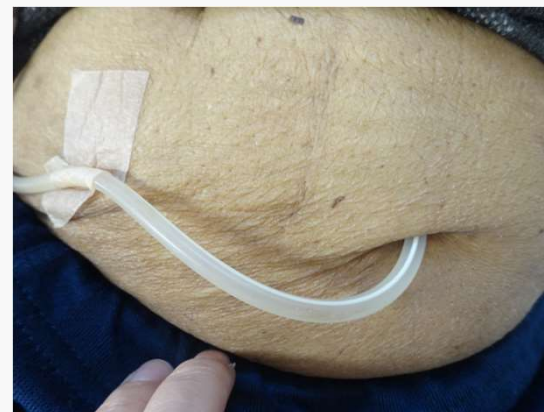
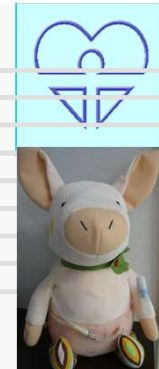
日中のかゆみ
0: ほとんど、またはまったくかゆくない
1: 少しかゆいが我慢できる程度
2: かゆさに掻いてしまうが、掻くとおさまる程度
3: かゆくていつも掻いてしまう、イライラする
4: 掻いてもおさまらない
夜間のかゆみ
0: ほとんど、またはまったくかゆくない
1: 就寝前少しかゆい。掻くほどではなく、よく眠れる
2: 多少かゆいが、掻けば治まる。夜間目が覚めることはない
3: かゆくて目が覚める。起きたら体に掻いた痕がある
4: かゆくて眠れない。掻くとますますかゆみが強くなる

## ISPD診断基準（出口部感染の定義・性状）

分類			0点	1点	2点
S	腫脹	Swelling スウェリング	なし	出口部限局 0.5cm未満	トンネルに波及 0.5cm以上
C	痂皮	Crust クラスト	なし	0.5cm未満	0.5cm以上
R	発赤	Redness レッドネス	なし	0.5cm未満	0.5cm以上
P	疼痛	Pain ペイン	なし	軽度	重度
D	排膿	Drainage ドレナージ	なし	あり	血性、膿性
G	肉芽	Granuloma グラニュローマ	なし	2mm未満	2mm以上
SUR	周囲の 皮膚かぶれ	SurfaceSurrounding サーフィスサラウンディング	なし	軽度	重篤
(N)	正常	normal ノーマル			

# 結果 症例①

70才代 女性 PD歴3年 腎硬化症



S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	1	0	0	0	0	1	2

S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	1	0	0	0	0	0	1

改善

日中	夜間
3	3

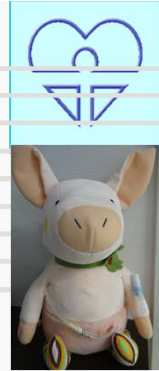
出口部周囲の皮膚がきれいになった  
かゆみが改善した  
テープもしっかり貼れている

日中	夜間
1	1

改善

# 結果 症例②

60才代 女性 PD歴3年 多発性のう胞腎



S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	0	0	0	0	0	1	1

日中	夜間
3	3

S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	0	0	0	0	0	0	0

日中	夜間
2	1

テープによる赤みが軽減した  
かゆみが改善した

改善

改善

# 結果 症例③

30歳代 男性 PD歴7年 逆流性腎症



S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	0	0	0	0	1	0	1

日中	夜間
1	1

変化なし

トンネル感染による出口部変更術の既往あり  
月1回外来時に剃毛をしているが、  
テープがはがれやすい  
保護剤によりテープ固定は容易になったが  
高価なため、継続が難しい  
リモイスコート（スプレータイプ）を試用中



# 結果 症例④

60才代 男性 PD歴5年 腎硬化症



S	C	R	P	D	G	SUR	Total
0	0	0	0	0	0	0	0

変化なし

日中	夜間
1	1

以前よりダウングロース形成のため、  
固定するように指導しているが、  
テープのかゆみがあり実施できていなかった  
保護剤が高価なため、より安価な別の保護剤に変更して継続中



## まとめ

- 2名の患者で「かゆみ」および「出口部・周囲の皮膚」の状態が改善した。
- 2名の患者は前後で変化がなかった。
- 皮膚保護剤が高価であり経済的に継続使用に難色を示した患者がいた。

## 考察

かゆみや皮膚トラブルのためにテープ固定ができていない患者には有効である。

今後さまざまな保護剤の価格と効果を比較し、継続可能なものを探す必要がある。

## 結論

「リモイス®コートハンディ」は  
PD出口部周辺の皮膚を保護し  
確実なテープ固定を可能とする  
ことより、出口部合併症の予防に  
有効であることが示唆された。

